

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育（1年次）

教科：保健体育 科目：体育（1年次） 単位数：2 単位

対象学年組：第 1年次 1組～ 9組

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（1年次） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、自他を大切にしようとする姿勢を育み、生涯にわたり、健康・安全を確保し継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業の受け方や評価の方法を理解する。</li> <li>・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために、学習した内容を、他の運動にも適用することができる。</li> <li>・「する、みる、ささえる」の視点から自他の課題を発見し、知識を活用したり、応用したりすることができる。</li> <li>・自他の違いを超えて運動を楽しむための合意形成や調整の仕方を考え、互いに伝え合うことができる。</li> <li>・体力の高め方を知り、生涯にわたって生活へ取り入れようとする。</li> <li>・仲間の体力や技能の程度、年齢や性別等に応じてルールを工夫するなどして運動を楽しむことができる。</li> <li>・心と体を一体として捉え、生涯にわたって他者とともに豊かなスポーツライフを継続できるようになる。</li> <li>・自他の違いを超えて、健康・安全を確保し、主体的に運動に取り組むとともに、互いに楽しむことができるようになる。</li> <li>・運動における競争や協働の経験を通して、身に付けた力を使って社会に貢献できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>○体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>	○	○	○	9
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツフェスティバル練習</li> <li>○体力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・筆記テスト</li> </ul>	○	○	○	10
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種種目</li> <li>※クラスごとに分かれて、ローテーションで行う。</li> <li>①バドミントン</li> <li>②テニス</li> <li>③ソフトボール</li> <li>④水泳（希望者のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・実技テスト</li> <li>・筆記テスト</li> <li>・まとめレポート</li> </ul>	○	○	○	10
		○各種目体育理論		○	○	○	10
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業の受け方や評価の方法を理解する。</li> <li>・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために、学習した内容を、他の運動にも適用することができる。</li> <li>・「する、みる、ささえる」の視点から自他の課題を発見し、知識を活用したり、応用したりすることができる。</li> <li>・自他の違いを超えて運動を楽しむための合意形成や調整の仕方を考え、互いに伝え合うことができる。</li> <li>・体力の高め方を知り、生涯にわたって生活へ取り入れようとする。</li> <li>・仲間の体力や技能の程度、年齢や性別等に応じてルールを工夫するなどして運動を楽しむことができる。</li> <li>・心と体を一体として捉え、生涯にわたって他者とともに豊かなスポーツライフを継続できるようになる。</li> <li>・自他の違いを超えて、健康・安全を確保し、主体的に運動に取り組むとともに、互いに楽しむことができるようになる。</li> <li>・運動における競争や協働の経験を通して、身に付けた力を使って社会に貢献できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種種目</li> <li>※クラスごとに分かれて、ローテーションで行う。</li> <li>①バドミントン</li> <li>②テニス</li> <li>③ソフトボール</li> <li>④水泳（希望者のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・実技テスト</li> <li>・筆記テスト</li> <li>・まとめレポート</li> </ul>	○	○	○	10
		○各種目体育理論		○	○	○	10
		○持久走		○	○	○	9
		○体育理論		○	○	○	合計 78